



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アルファ

コード番号 3434 URL <http://www.kk-alpha.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木之瀬 茂

問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員

(氏名) 斉藤 雄一

TEL 045-787-8401

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日

平成25年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	25,305	5.6	451	△57.5	1,061	4.1	513	△17.8
25年3月期第2四半期	23,962	8.5	1,062	89.2	1,019	169.8	624	201.7

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,569百万円 (689.3%) 25年3月期第2四半期 325百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	53.75	—	—	—
25年3月期第2四半期	65.40	—	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円銭	円銭	
26年3月期第2四半期	46,016	23,957	50.6	2,437.49				
25年3月期	43,279	21,680	48.6	2,201.94				

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 23,284百万円 25年3月期 21,034百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	50,000	7.0	1,800	5.3	1,800	△35.1	900	△47.7	94.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	10,200,000 株	25年3月期	10,200,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	647,348 株	25年3月期	647,348 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	9,552,652 株	25年3月期2Q	9,552,652 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信に關しましては、四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施済みです。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済においては、米国経済は個人消費の緩やかな回復が持続し、内需の底堅さをみせております。欧州では債務危機再燃への懸念が弱まるなか、企業景況感は、持ち直し傾向が持続しております。インド・中国の成長率は、内需の低迷を背景に、引き続き鈍化傾向となっております。

日本経済は、昨年末を底に回復傾向が持続し、設備投資も6四半期ぶりに増加しております。

当社グループの属する自動車業界では、日本の乗用車メーカーにおいては、海外においては北米を中心に生産台数を伸ばしておりますが、海外での現地生産が進み、国内生産台数は減少いたしました。

セキュリティ機器業界では、消費税引き上げを前にした駆け込みなどから、新設住宅着工件数は前年同四半期に比べ増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高については、253億5百万円と前年同四半期に比べ、13億43百万円（前年同四半期比5.6%増）の増収となりました。利益面については、営業利益は4億51百万円と前年同四半期に比べ、6億11百万円（同57.5%減）の減益となりました。経常利益は為替差益5億23百万円の影響により、10億61百万円と前年同四半期に比べ、41百万円（同4.1%増）の増益となりましたが、固定資産除売却損の計上により、四半期純利益は5億13百万円と前年同四半期に比べ、1億11百万円（同17.8%減）の減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 自動車部品事業（日本）

自動車部品事業（日本）におきましては、主要得意先での輸出車両の海外現地生産化シフトが進んだことにより、売上高は78億47百万円と前年同四半期に比べ、33億12百万円（同29.7%減）の減収、営業損失は3億8百万円（前年同四半期は営業利益3億58百万円）となりました。

#### ② 自動車部品事業（北米）

自動車部品事業（北米）におきましては、主要得意先の需要増加や、為替による影響があり、売上高は58億19百万円と前年同四半期に比べ、15億52百万円（同36.4%増）の増収となりましたが、新製品の立上げ並びに新工場立上げ費用の増加等により、営業損失は3億円（前年同四半期は営業損失4億43百万円）となりました。

#### ③ 自動車部品事業（アジア）

自動車部品事業（アジア）におきましては、主要得意先の東南アジアでの自動車生産台数が増加した影響で、売上高は110億33百万円と前年同四半期に比べ、22億円（同24.9%増）の増収となりましたが、製品ミックスの変化により、営業利益は8億41百万円と前年同四半期に比べ、1億46百万円（同14.8%減）の減益となりました。

#### ④ セキュリティ機器事業（日本）

セキュリティ機器事業（日本）におきましては、住宅向け電気錠の販売拡大や、レジャー施設の利用者数が堅調に推移し、売上高は33億76百万円と前年同四半期に比べ、3億53百万円（同11.7%増）の増収となりました。円安による海外生産品の輸入コストへの影響がありましたが、営業利益は1億89百万円と前年同四半期に比べ、8百万円（同4.8%増）の増益となりました。

#### ⑤ セキュリティ機器事業（海外）

セキュリティ機器事業（海外）の売上高は77百万円と前年同四半期に比べ、19百万円（同34.2%増）、営業利益は18百万円と前年同四半期に比べ、0百万円（同3.4%増）の増益となりました。

## (2) 連結財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は234億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ58百万円減少いたしました。これは現金及び預金が20億78百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が12億11百万円、原材料及び貯蔵品が2億41百万円、商品及び製品が2億39百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は225億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ、27億94百万円増加いたしました。これは、有形固定資産が14億24百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、460億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億36百万円増加いたしました。

## (負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は128億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億55百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が10億83百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は92億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ、2億4百万円増加いたしました。これは、退職給付引当金が3億5百万円減少したものの、長期借入金が4億40百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、220億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ、4億59百万円増加いたしました。また、有利子負債は、110億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ、3億58百万円増加いたしました。

## (純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は239億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ、22億76百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が3億70百万円、その他有価証券評価差額金が2億81百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の48.6%から2.0ポイント増加し、50.6%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動により1億49百万円の減少、投資活動により18億75百万円の減少、財務活動により1億77百万円の減少となりました。また「営業活動によるキャッシュ・フロー」と「投資活動によるキャッシュ・フロー」との差額であるフリー・キャッシュ・フローは20億24百万円の支出（前年同四半期は12億47百万円の支出）となりました。

以上の結果、換算差額を含めた当第2四半期連結会計期間末における資金の残高は、前第2四半期連結会計期間末に比べ24億21百万円減少の40億12百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による支出は1億49百万円となり、前年同四半期の3億90百万円の収入に対し5億39百万円の収入の減少となりました。これは、仕入債務の増減額が3億18百万円減少したこと等によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出が5億69百万円減少しましたが、関係会社株式の取得による支出が6億57百万円増加したことや投資有価証券の取得による支出が1億21百万円増加したこと等により、当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べ、2億37百万円支出が増加し、18億75百万円の支出となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入れによる収入が3億44百万円増加しましたが、長期借入金の返済による支出が4億67百万円増加したことや、短期借入れによる収入が4億6百万円減少したこと等により、当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べ、3億81百万円支出が増加し、1億77百万円の支出となりました。

## (3) 連結業績予想に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきまして、平成25年5月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,103	4,024
受取手形及び売掛金	8,873	10,085
商品及び製品	1,286	1,525
仕掛品	815	863
原材料及び貯蔵品	5,001	5,243
その他	1,415	1,692
貸倒引当金	△19	△17
流動資産合計	23,476	23,418
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,279	4,512
機械装置及び運搬具（純額）	2,743	2,974
土地	1,719	1,566
その他（純額）	5,006	6,119
有形固定資産合計	13,748	15,172
無形固定資産	591	970
投資その他の資産	5,463	6,454
固定資産合計	19,803	22,597
資産合計	43,279	46,016
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,792	6,876
短期借入金	3,356	3,350
未払法人税等	202	231
賞与引当金	409	333
製品保証引当金	186	162
事業構造改善引当金	139	139
その他	2,511	1,760
流動負債合計	12,597	12,853
固定負債		
長期借入金	5,842	6,282
退職給付引当金	428	123
資産除去債務	67	67
その他	2,662	2,732
固定負債合計	9,001	9,205
負債合計	21,599	22,058

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,760	2,760
資本剰余金	2,952	2,952
利益剰余金	14,619	14,989
自己株式	△578	△578
株主資本合計	19,753	20,123
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,897	2,179
為替換算調整勘定	△616	981
その他の包括利益累計額合計	1,281	3,161
少数株主持分	646	672
純資産合計	21,680	23,957
負債純資産合計	43,279	46,016



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	23,962	25,305
売上原価	20,198	22,005
売上総利益	3,764	3,300
販売費及び一般管理費	2,701	2,849
営業利益	1,062	451
営業外収益		
受取利息	19	21
受取配当金	30	49
為替差益	—	523
その他	70	111
営業外収益合計	120	706
営業外費用		
支払利息	61	77
為替差損	58	—
その他	42	18
営業外費用合計	163	95
経常利益	1,019	1,061
特別利益		
固定資産売却益	39	88
投資有価証券売却益	—	68
その他	—	3
特別利益合計	39	160
特別損失		
固定資産除売却損	23	189
製品保証引当金繰入額	79	—
その他	25	41
特別損失合計	127	231
税金等調整前四半期純利益	931	990
法人税、住民税及び事業税	373	385
法人税等調整額	△52	15
法人税等合計	320	401
少数株主損益調整前四半期純利益	610	589
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△13	75
四半期純利益	624	513

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	610	589
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△207	281
為替換算調整勘定	△78	1,698
その他の包括利益合計	△285	1,980
四半期包括利益	325	2,569
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	325	2,393
少数株主に係る四半期包括利益	△0	176

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	931	990
減価償却費	799	931
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	△4
受取利息及び受取配当金	△49	△71
支払利息	61	77
固定資産売却損益 (△は益)	△39	△57
固定資産除却損	23	158
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△36	△77
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	41	△23
売上債権の増減額 (△は増加)	△486	△21
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△272	242
仕入債務の増減額 (△は減少)	△157	△476
長期未払金の増減額 (△は減少)	△16	△36
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△45	△300
その他	△72	△1,122
小計	677	210
利息及び配当金の受取額	48	69
利息の支払額	△52	△69
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△282	△359
営業活動によるキャッシュ・フロー	390	△149
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△164	—
定期預金の払戻による収入	278	46
有形固定資産の取得による支出	△1,860	△1,290
有形固定資産の売却による収入	303	284
無形固定資産の取得による支出	△23	△57
投資有価証券の取得による支出	△11	△133
投資有価証券の売却による収入	—	90
関係会社株式の取得による支出	△158	△816
その他	△1	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,637	△1,875
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	406	—
短期借入金の返済による支出	△150	—
長期借入れによる収入	1,506	1,850
長期借入金の返済による支出	△1,082	△1,549
配当金の支払額	△162	△143
少数株主への配当金の支払額	△69	△95
その他	△243	△238
財務活動によるキャッシュ・フロー	203	△177
現金及び現金同等物に係る換算差額	△209	163
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,253	△2,037
現金及び現金同等物の期首残高	7,686	6,049
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,433	4,012

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I. 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	8,685	4,242	8,014	3,005	13	23,962	—	23,962
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,474	24	817	16	44	3,377	△3,377	—
計	11,160	4,267	8,832	3,022	58	27,340	△3,377	23,962
セグメント利益 又は損失(△)	358	△443	987	180	17	1,101	△38	1,062

(注) 1.セグメント利益又は損失(△)の調整額△38百万円は、セグメント間取引消去△38百万円であります。

2.セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II. 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	6,373	5,792	9,721	3,361	56	25,305	—	25,305
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,473	26	1,312	14	21	2,848	△2,848	—
計	7,847	5,819	11,033	3,376	77	28,154	△2,848	25,305
セグメント利益 又は損失(△)	△308	△300	841	189	18	439	11	451

(注) 1.セグメント利益又は損失(△)の調整額11百万円は、セグメント間取引消去11百万円であります。

2.セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (重要な後発事項)

## 1. 株式取得による会社等の買収

当社は、平成25年11月8日開催の取締役会において、タイの住設機器製造メーカー、C. I. TECHNOLOGY CO., LTD. (以下「C. I. T 社」) の株式を取得し、子会社化することについて決議いたしました。概要は次のとおりであります。

## (1) 株式取得の理由

平成25年9月12日付「住設機器事業の海外展開について」でご案内いたしましたとおり、現在、住設機器事業のグローバル化への積極的な対応を図っております。その取組みの一環として、タイの住設機器製造メーカー C. I. T 社の全株式を取得することといたしました。

当社グループは海外での事業展開を重要な成長戦略と位置づけており、本株式の取得により、国内での住宅向けの電気錠の活発な需要に対する安定的な供給及び、東南アジア、中国市場への販売を拡大してまいります。なお、C. I. T 社はタイにおいて、住宅向け製品の製造及び、樹脂成形部品等を現地日系メーカーへ供給しており、当社との相乗効果が期待できると判断し、本件を決議いたしました。

## (2) 株式取得の相手会社の名称

C. I. TECHNOLOGY CO., LTD

## (3) 買収する会社の名称、事業内容、規模 (平成24年12月31日現在)

① 名称	C. I. TECHNOLOGY CO., LTD.
② 所在地	タイ王国アユタヤ県
③ 代表者の役職・氏名	Santad Srivichankul, President
④ 事業内容	住設機器製品、樹脂成形部品、プレス部品、金型の製造販売
⑤ 資本金	97,177,600バーツ
⑥ 設立年月日	2000年6月
⑦ 純資産	20,234千バーツ
⑧ 総資産	294,431千バーツ
⑨ 売上高	493,497千バーツ

## (4) 株式取得の時期

未定

## (5) 取得株式数、取得価額及び取得後の持分比率

① 取得株式数	971,776株
② 取得価額	未定
③ 取得後の持分比率	100%

## (6) 資金調達方法

資金の調達につきましては、社債の発行を予定しております。